

## 令和6年度第9回都市経営会議 令和6年(2024年)9月12日(木)開催

### 1 損害賠償の額の決定について

【提 案】 環境部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

### 2 令和7年度(2025年度)当初予算編成方針について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 指摘事項を修正することをもって承認(条件付き)

【質疑等】

- ・ 各部局戦略計画の作成に当たっての庁内通知でも触れているが、現在の財政状況からすると新規拡充事業の採択は厳しい状況にある。各部局とも必要性を判断されての要求とは認識しているが、再度、内容の精査をお願いしたい。
- ・ かねてからお伝えしているところであるが、人口減、特に、生産年齢人口は、2045年頃には大幅減となることが予測されている。市民が少なくなれば財政も縮小する。そのような状況下で職員だけ現状維持というのは難しい。市民ニーズに応えるべく、新規拡充事業を要求予定の部署があることも承知しているが、人員増が必ずしも約束されるものではないことを念頭に置いてほしい。

事業についてはビルドアンドクラップの観点から、いかに工夫して取り組むかを検討いただいているとは思いますが、経費面のみならず、人員面も同様の考えで進めてほしい。新規事業だから増員ではなく、DXや協働共創の観点も取り入れながら既存事業を工夫した結果、この人員で収まったという発想の転換も必要だと考えている。かねてから各部局においては創意工夫いただいているところではあるが、来年度予算だけの話ではないため、構造的に見直す文化を根付かせていかなければならない。単年度が無理なら複数年度で取り組んでいく。目先の対応も大切ではあるが、中長期の取組についても皆さんと考えていきたい。

- ・ 事務事業見直しの件でお願いする。収支改善に向けての次のフェーズは、この予算要求のタイミングしかない。令和7年度(2025年度)からの対応分にあげていただいた取組は、予算要求時に漏れなく見直してほしい。令和8年度(2026年度)以降の対応分も、見直し時期の前倒しや、速やかな着手が可能なものは一緒に考えていきたい。

業務効率化の観点からは、業務改革推進課や庁内横断的なチームで業務の効率化に関する相談を随時受け付けている。市の事務を、市民サービスの質を落とさずに限られた人員で対応するために効率化を図りたい。支援できることがあれば相談してほしい。

- ・ 市の財政状況に関する市民への広報はどのように行う考えか。
- ⇒ 広報たからづか11月でお知らせできるよう調整している。限られた誌面ではあるも

の、事務事業見直しの内容を含めた記事としたい。

- ・ 市民への説明に際しては、一方的に切り捨てるという印象を与えないようにしてもらいたい。協働共創などにより、市民サービスの質を極端に落とさないようにしながら事業を実施いただきたいと伝えているが、事業の廃止ばかりが浮き上がって見える。その情報を受け取った市民が切り捨てられたという印象を受けてしまうと、今後、取組を実行していく際に、難しい関係性からのスタートになってしまう。市民に誤解を与えないような表現にしてほしい。
  - ・ 予算編成についての通知文中、「2 予算編成の基本方針」の項目に、「アフターコロナに伴う受診控えや外出控えなどが解消されたことによる扶助費の増」とあるが、表現に間違いはないか。扶助費は令和元年度（2019年度）以降、右肩上がりであり、中でも令和3年度（2021年度）が最も高く、アフターコロナ期の令和5年度（2023年度）より高かった。令和5年度（2023年度）も扶助費が高くなっているものの、その要因は、通知文にあるような、受診控えや外出控えが解消されたことによるものなのか。  
また、特別会計への繰出金の増は、コロナ禍とは関係なく高齢化などの影響によるものだと思う。コロナ禍においては、国からの交付金等の歳入があり結果的に財政状況が良かったが、特別会計への繰出金の増はコロナ禍でも同様であった。その辺りの認識の違いを指摘されないか。
- ⇒ 扶助費について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行する以前は、受診控えや外出控えなどにより、乳児医療や生活保護の医療費などがかなり低めになっていた。令和5年度（2023年度）は、年度内（5月）に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、乳児医療や生活保護の医療費ともに増加した。  
令和3年度（2021年度）は、国の交付金を活用した事業の実施などが影響している。あくまでコロナ禍が特異だったことを伝えたかった。
- ・ 予算編成についての通知文中、「2 予算編成の基本方針」の項目に、「令和7年度は以下4つの視点を持って事業を進めることを基本とします」とあるが、重要度順に並べているのか。
- ⇒ 来年度の重点方針の表現を引用している。重要度順に並べているわけではない。
- ・ メッセージを出す場合は大切なものから順に書いてもらえると分かりやすい。
  - ・ 同じく「2 予算編成の基本方針」の項目に、令和7年度（2025年度）の重点方針が列挙されているが、このうち「(3) 宝塚らしいにぎわいと活力にあふれるまち」のところだけに「多様な主体との連携のもと」と記載がある。協働共創の視点は全ての項目で重要であるため、「(1) 子どもと子育て世代にやさしいまち」「(2) 誰もがずっと住み続けたいと感じるまち」にもかかるように記載いただきたい。
- ⇒ 検討させていただく。

3 本市における審議会等への女性の参画状況について（報告）

【報告】 総務部

【質疑等】 なし